

本校生徒部では、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどによるトラブルを未然に防ぐ一助とするために「いわみの特別号」を発行し情報提供をしています。バックナンバーは益田高校のホームページに掲載していますのでご覧ください。

益高生のスマホ事情

益田高校では、生徒が安全で安心な生活を送っているか確認するとともに、危険や不安があれば校内及び関係機関と連携して対処することを目的として「安全安心アンケート」を行っています。この中で、SNSに関連したものを紹介します。

2月のアンケートは3年生は対象としていないので、1～2年生の回答数になります。

モバイル端末(PC,ケータイ、スマホ等)のサイトで中傷被害、詐欺被害にあったことがある。

H26		H25	
9月	6月	2月	10月
3	9	(4)	0

益高生も中傷被害や詐欺被害にあっています。迷惑メールや詐欺メールなどを含む「知らない人」からのメールに悩まされている生徒も数多くいるようです。このメールをクリックしたことからトラブルになり、これを解決す

るために警察に相談するなどの事態も起きています。

また、自分の実名や学校名をサイトに出されてしまった生徒もいます。SNSで自分の個人情報を出すことは好ましくないことですが、他人によって自分個人情報をサイトに出されないように気を付ける必要もあるようです。

ラインでのやり取りで人間関係が悪くなったり、トラブルになったりしたことがある。

H26		H25	
9月	6月	2月	10月
10	9	(5)	6

ラインの「アカウントの乗っ取り」の実態がマスコミでも取り上げられ、社会問題化していますが、益高生でも乗っ取られてしまった生徒がいます。大変に恐ろしいことです。

また、ライン上で「数人に集中攻撃をされた」や「タイムラインで悪口を書かれてケンカになった」、「いきなりひどい文句を言われた」などのトラブルが数多くある状況です。

ラインに時間を費やしてしまい、学習時間が減ったり生活リズムに支障をきたしたりしたことがある。

H26		H25	
9月	6月	2月	10月
52	64	(22)	44

「つい長くいじってしまう」「テスト勉強の時間が減った」「寝る時間が遅くなる」など様々な記述がありました。また「既読スルー」により人間関係に影響が出ることを避けるためにラインの時間が長くなっている場合もある

ようです。家庭でのルールづくりが一番の手立てかもしれません。

島根県教育委員会では学校ネットパトロール事業委託業者の協力で、ネットトラブル予防のためのメールマガジンを各学校に配信しています。このメールマガジンの記事を紹介します。

Twitterの乗っ取り

最近ではTwitterアカウントの乗っ取り方法も流行っているようです。Twitterでは、スパムツイートと呼ばれる、迷惑メールのようなメッセージが送られてくることがあります。このようなツイートは、「芸能人の●●が電撃結婚！」や「人気番組の■■で放送事故」など、多くの人が興味を持ちそうな内容のメッセージとURLで構成されているケースが多いのですが、このURLをクリックすると、アプリの認証画面に切り替わり、Twitterのパスワード入力を求められます。ここでパスワードを入力してしまうと、Twitterのアカウントが乗っ取られてしまいます。そして、今度は、自分のアカウントから、スパムツイートを発信するようになってしまうのです。

パスワード管理の基本

このような被害から身を守るためには、パスワードの取り扱いについて、正しい知識をもつことが重要です。

- ・パスワードは他の人に教えない
- ・確認画面や認証画面では、むやみに承認しない（よく分からない時は、そこから先に進まない）
- ・サービスごとに、違うパスワードを使用する（同じものを使い回さない）
- ・分からないことがあったら、身近な大人に相談する

これらのことを理解させるとともに、悪意をもった人物に、自分のアカウントが狙われるかもしれないという危機感をもたせることが大切です。

□■ラインのトラブル-----

文字によるコミュニケーションでは真意が伝わりづらいため、実際に会話をするよりも誤解を生まれやすくなります。また顔が見えない状態では、感情なども大胆になりやすく、そこからトラブルに発展していくことも考えられます。

さらに、LINEでは「スタンプ」と呼ばれるイラストを簡単に張り付けることができ、会話の文章を省略する等の使い方も出来ます。しかし、明確な意志を表示できる絵文字ばかりでは無い為、意思疎通の際に誤解が生まれる可能性があります。

また、相手が自分の投稿を見た際に付く「既読」表示というものもあります。子ども達は、相手が自分の投稿に対して既読の状態になっているにも関わらず、返事をもらえないと、無視されていると思い込み、トラブルに発展することもあるようです。